

JAPAN SOCIETY FOR OFFICE STUDIES

仕事に活かせる、オフィス学会

— 会員制度のご案内 —

アカデミックの研究と、企業のプロダクト開発・マーケティングをつなぐプラットフォーム

一般社団法人 日本オフィス学会

www.jos-japan.jp



はじめに — ご案内の主旨

このたびは、一般社団法人日本オフィス学会の法人会員・個人会員へのご参画をご案内申し上げます。

オフィスを取り巻く環境が大きく変化するなか、「働く場」を研究し、実務に活かす学びとネットワークの価値はこれまで以上に高まっています。

本資料では、学会の活動内容（8つの研究部会・セミナー・大会・学会誌）と、ご参画によって得られる具体的な価値をご紹介します。



2026年、一般社団法人へ移行

1999年の設立以来の活動を礎に、2026年1月5日付で一般社団法人へ移行しました。財務・契約の透明性を高め、産業界・行政との連携や若手研究者の育成を一層推進していきます。





いま、オフィスを取り巻く環境変化



働き方の多様化

ハイブリッドワークが定着し、出社とリモートの最適な棲み分けが問われている。



世代間の価値観

Z世代をはじめ、多様な世代が調和して働く組織・チームづくりが求められる。



出社回帰と場の再定義

「わざわざ集まる意味」を生むオフィスへ。空間の役割が問い直されている。



ヒューマンキャピタル経営

人的資本の開示が進み、オフィスが経営の“本気度”を映す指標になりつつある。

自社だけでは答えの出しにくい問いが、急速に増えています。



オフィス学会とは

日本オフィス学会は、オフィスに関する大学、研究機関、企業等の学識経験者や実務経験者、学生が集まり、これまでのオフィスに関する知見を深めるとともに、新しい可能性を見出す研究を続けています。

オフィスはワーカーが働く場であり、生活する場でもあります。故にその研究は、建築、インテリアや家具などの物理的な働く場所や環境装置にとどまらず、その働き方や経営、働く人そのものまで、幅広い研究領域が対象となります。このような学際的で重層化されているオフィスを、様々な切り口で研究することにより、経済の発展、文化の隆盛につなげていくのが本学会の使命です。

主な事業

- 調査研究と、その成果の発表
- 学会誌・図書の発行
- 大会・講演会・研究会・講習会の開催
- オフィスに関する技術技能の養成と教育

参画いただきたいオフィス関係者

- 1 オフィス家具・内装建材メーカー
- 2 オフィス機器・設備・システム
- 3 オフィスデザイン・内装工事・販売
- 4 FM・ワークプレイスコンサルティング
- 5 建設・不動産・施設管理
- 6 BPO・オフィスサービス
- 7 事業会社の総務・FM部門
- 8 大学・研究機関

法人会員 41社 個人会員 136名 26.6現在



8つの研究部会 26.3現在

自分の関心テーマを持ち込み、産学のメンバーと共同研究できる — それが学会活動の中心です。
また新たな研究テーマを掲げて、ここにはない研究部会を立ち上げることも可能です(理事会の承認事項)。



ユニバーサルデザイン
研究部会



ワークスタイル
研究部会



オフィス環境設備インフラ
研究部会



ワークプレイスプログラミング
研究部会



ヒューマンキャピタルオフィス
研究部会



オフィス人間工学
研究部会



オフィス家具
研究部会



ステーショナリー
研究部会



ユニバーサルデザイン研究部会

働く場でのユニバーサルデザインのあり方を研究し、提言する

活動内容

- 高齢化が進むなか、子育て世代・高齢者・障がい者など、誰もが安心して生き生きと働くために必要な要素や環境を探る。
- 「デザイン」「ビジネス」「福祉」の分野を越え、新たな出会いと仕事が生まれる場を研究。
- 実在するオフィスや施設の視察を基点に、多様なケーススタディを検証する。
- 活動成果報告 https://www.jos-japan.jp/activity/public_01.html

直近の大会発表テーマ

「コロナ禍における聴覚障害者のコミュニケーション」

主な参加メンバー

カウネット／コマニー／ダイシン工業／プラス／オカムラ ほか



ワークスタイル研究部会

ワークスタイルとワークプレイス・組織の関わりを研究する

活動内容

- 社会を取り巻く状況の変化が早い現代において、企業競争力を高める上で
のオフィスワーカーの「ワークスタイル（働き方）」を考える。
- 組織論やイノベーション論を素地としながら、より知的生産性の高い
ワークスタイルを探究することを目的とし、個人および組織（集団）
の働き方について研究を行っている。
- テーマごとにオフィスワーカーへのアンケートによる定量的調査や、フィ
ールドワークを中心とした定性的調査を実施。
- 活動成果報告 https://www.jos-japan.jp/activity/public_02.html

直近の大会発表テーマ

「Well-doingとWell-being
日経ニューオフィス賞受賞オフィスの事例から
の考察」

主な参加メンバー

東京科学大学／イトーキ／ザイマックス不総研／ニ
ッセイ基礎研究所／三井デザインテック／プラス
ほか



オフィス環境設備インフラ研究部会

空調・電気・照明・衛生などの設備インフラを研究する

活動内容

- 知的照明に代表される最新の設備インフラが、知的生産性やワーカーの心理・行動に及ぼす影響を解明。
- 設備インフラから見たICTの可能性、エコロジー・サステナビリティの観点を探る。
- 次世代のオフィス・ワークプレイスにおける設備インフラの可能性と最新情報を紹介。
- 活動成果報告 https://www.jos-japan.jp/activity/public_04.html

直近の大会発表テーマ

**「クロスカルチャード・オフィス」
-つながり方と快適性の再構築-**

主な参加メンバー

同志社大学／三機工業／イトーキ／オカムラ／
プラス ほか



ワークスペースプログラミング研究部会

ワークスペースづくりの要求条件整理（プログラミング）を研究・実践する

活動内容

- 日本社会の実情を反映したプログラミングのプロセス・内容・アウトプット・合意形成方法を研究。
- その最適な手法を、具体的なプロジェクトへ普及させる方法を検討。
- 実践と普及の場を設ける活動を行う。
- 活動成果報告 https://www.jos-japan.jp/activity/public_05.html

直近の大会発表テーマ

パネル「ワークスペースプログラミングの新たな兆し」

主な参加メンバー

京都工芸繊維大学／JLL／竹中工務店／大成建設／
イトーキ ほか



ヒューマンキャピタルオフィス研究部会

旧・オフィス投資価値研究部会 — 経営の“本気度”を可視化する

活動内容

- オフィス投資価値研究部会では、「**オフィスへの投資は人的投資である**」ということを見出し、経営理論に基づいた整理を行った。
- 現在は「**人的資本に投資する企業・組織はオフィスにも投資するはずである**」という仮説を設定し、活動を行なっている。
- 開示義務が設定された人的資本（ヒューマンキャピタル）経営について学び、オフィス投資が、その活動の“本気度”の証しであることを解明する。
- 従来のオフィス見学に加え、他学会との連携やデータ分析など、新たな調査方法の考案も含めて研究を行う。
- 活動成果報告 https://www.jos-japan.jp/activity/public_06.html

直近の大会発表テーマ

「ヒューマンキャピタル経営の実践を支えるオフィス—“本気度”の可視化を目指して—」

主な参加メンバー

松岡総合研究所／イトーキ／シグマクシス／ナイキ／ビーキャップ／DuckDive ほか



オフィス人間工学研究部会

人間工学に基づいた家具やワークプレイスを研究する

活動内容

- 変化するワークスタイル・ワークプレイスを、人間工学的な見地から考察・評価し、改善を提言。
- 一般化したリモートワーク環境について、ワーカーと家族の心身の健康を維持・向上する課題を整理。
- 在宅ワークの人間工学的ガイドラインなど、実務に使える成果をまとめる。
- 多様化する働く場において、存在価値を増しているオフィス内外の個室ブースを人間工学的に評価。
- さらに幅広く作業内容と作業環境の人間工学的検討を進める中、生成AIを使って、オフィスを人間工学的に評価する手法を研究中。
- あらためて、人間による多面的な観点から評価する力のすばらしさを学んでいる。
- 活動成果報告 https://www.jos-japan.jp/activity/public_07.html

直近の大会発表テーマ

「在宅ワークにおける人間工学的ガイドライン
～Ver.2 アップデートに際して～」

「作業内容と作業環境の人間工学的検討」

主な参加メンバー

早稲田大学／芝浦工業大学／大原記念労働科学研究
所／イトーキ／コクヨ／プラス／ハーマンミラー
ジャパン／元YAMAGIWA／元オフィス業界誌編集
／インデックスファシリティーズほか



オフィス家具研究部会

社会の変化とともに移り変わるオフィス家具の歴史と可能性を探る

活動内容

- 社会的背景とともに変化するオフィス家具の歴史と変遷を体系化。
- 「働く環境と場」の視点から、オフィス家具の変化を明確化し、新しい可能性を探索。
- 研究テーマに基づいたワークショップ／セミナー／見学会の開催
下は2024年に「循環社会における家具のマテリアルの行方」をテーマに家具メーカーの商品開発職メインで実施したセミナーの様子
- 活動成果報告 https://www.jos-japan.jp/activity/public_08.html

直近の大会発表テーマ

「循環型ビジネスとオフィス家具」
／「ラウンジワークから見たオフィス空間の変化」

主な参加メンバー

東京大学／イトーキ／プラス／オフィスコム
／ワークスケープ・ラボ／丹青社／ナイキ ほか



ステーショナリー研究部会

働き方の変化から見てくる、ステーショナリーの未来を研究する

活動内容

- ステーショナリーは記録の道具であると同時に、人のコミュニケーションを円滑にする役割も担う。
- オフィス学で活用されるSECIモデルを機軸に、知的生産の質的向上との関係を検証。
- 「KOTO」「HITO」「MONO」を基点に、今後の働き方とステーショナリーのあり方を提案。
- 活動成果報告 https://www.jos-japan.jp/activity/public_09.html

直近の大会発表テーマ

「ハイブリッドワーク時代の手書きオンライン会議の可能性」

主な参加メンバー

コクヨ／日本ノート／プラス／ライオン事務器／
NTTデータ・ユニバーシティ ほか



セミナー（年4回）

最新テーマを学び、人とつながる場

年4回のオフィス学講座を開催。

新法人発足記念セミナーは、1999年学会設立以来第64回目のセミナーとなりました。学問としての研究はもちろん、実務に関するテーマも取り上げ、オフィス学の深耕を図ります。

各社の協力を得て、オフィス見学を兼ねるセミナーも開催しており、生きた事例に触れられます。



※会場：株式会社SHIFT様



※会場：コクヨ株式会社様

近年のテーマ例

- Beyond The Office
～AIが浸透する社会と未来のオフィス学～
- 研究部会活動報告 & AIがもたらすオフィスの変化
- オフィス投資価値と人的投資価値の先へ
- 地域と共創するワーケーションオフィス
- サステナビリティとワークプレイス



新法人発足記念セミナー

2026年4月、一般社団法人として最初のセミナーを開催

オフィス学講座「『Beyond The Office 新たなるオフィスへの旅』 ～AIが浸透する社会・不確実な時代に未来の学問「オフィス学」は何を問い続けるのか～」

開催概要

日時	2026年4月21日(火) 16:00～18:30
会場	「THE CAMPUS HALL “CORE”」(コクヨ東京品川オフィス)
形式	対面+Zoomハイブリッド(後日アーカイブ配信)
参加数	160名
後援	(公社)日本ファシリティマネジメント協会(JFMA) / (一社)日本オフィス家具協会(JOIFA)

プログラム

第1部 パネルディスカッション

モデレータ:	(株)松岡総合研究所 / (一社)日本オフィス学会会長	松岡 利昌氏
パネリスト:	コクヨ(株) ワークスタイル研究所 所長 / 京都工芸繊維大学 特任准教授	山下 正太郎氏
	名古屋市立大学 講師 / (一社)日本オフィス学会 学会誌委員長	佐藤 泰氏
	(株)Duck Dive 代表取締役社長	關 倫太郎氏
	早稲田大学創造理工学部建築学科 田辺新一研究室 大学院生	山崎 日菜子氏

第2部 設立記念パーティー





大会

1年の研究成果が一堂に会する、年次イベント

各研究部会が1年間の研究成果を発表する、学会の中心的なイベント。
2026年で第27回を数え、産学の知見が交差する場として続いています。
会員は研究発表・論文投稿を行うことができ、自社の取り組みを社外へ
発信する機会にもなります。
発表を通じて得た知見や人脈は、その後の実務にも還元できます。



※第26回日本オフィス学会大会：立命館大学茨木キャンパスにて開催

第27回

2000年2月に第1回大会開催

大会でできること

- 研究成果の発表
- 学会誌への論文投稿
- 産学メンバーとの交流



第27回大会のお知らせ

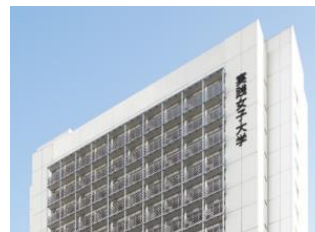
第27回 日本オフィス学会大会（ハイブリッド開催）

開催日時

2026年9月18日(金)

会場

実践女子大学 渋谷キャンパス（ハイブリッド開催）



大会テーマ Beyond The Office ～これからの「オフィス学」を問う旅～

記念講演（11:00～12:00）

橘 弘志 氏

実践女子大学 副学長／環境デザイン学部長・教授

当日の進行

第1セッション 10:30～12:00 講演・記念講演

第2セッション 13:30～16:40 研究発表・大会論文・ポスター

第3セッション 17:00～18:30 情報交換会

はじめに：太田 明子 理事／開会挨拶：松岡 利昌 会長 ほか

注目の研究発表（抜粋）

ワークスタイル研究部会：ワークプレイスにおけるコミュニティマネージャーの役割と実践

ヒューマンキャピタルオフィス研究部会：人的資本とオフィスをつなぐ指標候補

オフィス人間工学研究部会：AI画像生成を活用したオフィス環境の人間工学的評価

オフィス家具研究部会：NeoCon2026報告 ～ワークプレイスの変容

ステーションナリー研究部会：デジタル共創キャンパスは“文具”の機能をどう拡張するか

研究部会発表（全8部会）・大会発表論文・ポスター発表を予定。

参加申込方法・プログラム詳細はJOSホームページにて（jos-japan.jp/seminar_form/academy27/）。

建築CPD申請中



日本オフィス学会誌

研究成果のアーカイブ — 提案のエビデンスに

日本オフィス学会誌は、研究部会や大会で生まれた研究成果・知見を蓄積する定期刊行物です（2009年創刊・4月、11月の年2回発刊）。

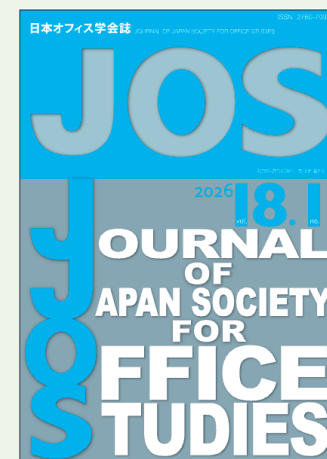
会員は論文を投稿でき、自らの研究を形に残せます。また、科学技術振興機構（JST）が運営する電子ジャーナルプラットフォーム「J-STAGE」にて公開しており、より多くの研究者からアクセスしていただけます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jospapers/-char/ja>

今後は論文掲載の他、論文、論説よりライトで、かつ会員皆さまの勉強、刺激になるようなコンテンツの拡充を予定しています。

そのほか、2024年にはオフィス学会25周年を記念して書籍も出版しています。

主な刊行物



日本オフィス学会
誌
年2回発行



オフィスから会社
を変える
2024年9月発行

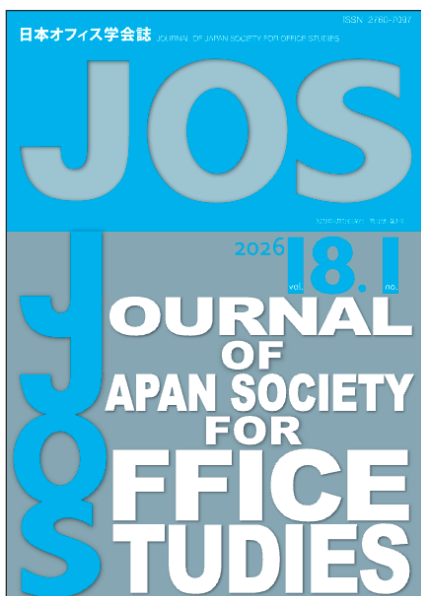


最新号のご案内

日本オフィス学会誌 第18巻第1号（2026年4月30日発行）

定価 2,200円／1冊（税込・送料別、送料1～9冊430円） | 入手 会員には毎号配付。会員以外も購入可（office@jos-japan.jp）

掲載内容（目次）



巻頭言

一般社団法人への移行と今後の発展に向けて
松岡 利昌

論説

ワークプレイスプログラミングの現在地
ワークプレイスプログラミング研究部会

Well-doing と Well-being
ワークスタイル研究部会

生き続けるオフィスとは
成瀬 友梨

投稿論文

ワーカータイプに着目したオフィス空間に対する印象と環境要素の関係
野々田 幸恵 ほか

ラウンジ型ワークスペースの緑化形態が空間の印象にもたらす影響
宮城 智輝 ほか

実効的なFMプロセスに基づくオフィス内ライブラリーの活用促進施策
の実証
小池 巧朗 ほか

セミナー報告 ほか

第62回研究セミナー「オフィス投資価値と人的投資価値の先へ」
（鯨井 康志） ほか



オフィス学会の特徴

関連団体が「業界振興・表彰・資格・標準化」を担うのに対し、学会は産学が共同で“オフィスそのもの”を研究します。

NOPA

一般社団法人ニューオフィス推進協会

「日経ニューオフィス賞」によるオフィスの表彰や、セミナー・講座を通じた普及啓発・人材育成。

JOIFA

一般社団法人日本オフィス家具協会

オフィス家具の規格・JIS策定やJOIFAナンバー（品質保証）など、家具産業の振興・標準化。

JFMA

公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会

FM（施設経営）の普及と、認定ファシリティマネジャー資格による人材育成。



一般社団法人日本オフィス学会

JOSは産と学が同じテーブルで“オフィスそのもの”を研究する学会。研究部会・大会・学会誌を通じて新しい知見を生み、アカデミックの研究と企業のプロダクト開発・マーケティングをつなぎます。



会員が得られる4つの価値

会員インタビューから見た、実務に効くメリット



異業種ネットワーク

01

多様な専門家や実践者と交流し、自社にはない視点や生きた情報を獲得できる場。

多様な専門家
との交流

異業種事例か
らヒント獲得

実務に直結す
るインプット



社内への還元

02

外部で得た最新の知見を、自社の働き方改革や組織風土の改善に直接活かせる。

外部の最新
知見の獲得

働き方改革へ
の直接応用

社内コミュニ
ティの活性化



業務への直結

03

自社が直面するリアルな組織課題を部会のテーマに持ち込み、産学連携で探求できる。

自社課題の
研究テーマ化

多様な働き方
と組織の
あり方の探求

学術と実務を
繋ぐ課題解決



提案のエビデンス

04

学会活動を通じた学術的な裏付けや豊富な他社事例が、社内提案の説得力を高める。

学術的な裏付
けの取得

多角的な他社
事例のベンチ
マーク

提案の説得力
と信頼性の向
上



参加者の声

会員インタビュー



辻井 耕太郎 氏

プラス株式会社

社会人10年目。デザイナー・PMを経て、現在は新規事業開発とオフィスを中心としたワークプレイスに関する調査・研究に従事。

“

組織の枠を超えて、オフィス家具メーカー以外にも様々な分野の方々とネットワークを築きながら、新たな知見や情報を得る場として活用しています。

日々オフィスづくりに携わる立場として、自身の業務に直結するテーマについて議論・研究できることも大きな魅力です。

活かし方

- 外部で得た知見を社内の啓蒙活動やクライアントワークに還元
- 自身が持つ課題や興味のあるテーマについて外部有識者と意見交換
- 企業だけでなく研究者の方々とのつながりを築ける



参加者の声

会員インタビュー



岩田 友梨 氏

株式会社デンソー

総務人事担当。約1,500名の社員を対象とした環境整備に従事。オフィスという「ハード」にとどまらず、組織の一体感醸成や新たな交流を促す「コミュニティマネジメント」の課題に取り組む。

“

「リアルイベントで他社の方と直接対話でき、オンラインでは得られない『生きた繋がり』を感じたことが入会の決め手。AI時代の『働きがい』や『コミュニティ形成』といったソフト面の課題を、産学の枠を超えて探求・実践できるのが大きな魅力です」

活かし方

- 自分一人では見つけられない多様なベンチマーク先（他社事例）を開拓比較検討
- 得られた最新の知見を単なるインプットで終わらせず、自社で実践・試行して還元
- 学会活動を通じた情報ネットワークが、経営層へ新たな施策を提案する際の説得材料に



参加者の声

会員インタビュー



今野 喬木 氏

国際医療福祉大学・高邦会グループ

新卒でオフィス家具メーカーの営業を経験後、製薬業界（MR）や医療データコンサルタントを経て現職。現在は、アカデミアの立場から、医療業界参入を目指す企業への支援や組織開発に従事。「医療・データ」という異業種の視点を持つ。

“

「オフィス業界の豊富な実践知に、学術的な裏付けや他業界のエビデンス視点が加わることで、ワークプレイスの価値は客観的に証明されると思います。JOSには、眠っている業界の知識を言語化し、新しい提案のバックデータを共に築いていくプラットフォームとしての大きな可能性を感じています。」

活かし方

- ・ オフィス業界に眠る「暗黙知のナレッジ」を言語化し、他業界への提案にも活かしていきたい
- ・ 新たな価値を創出学会や関連イベントで得た空間デザインの「創造のプロセス」を、自身の事業企画やアイデア出しに直接応用した
- ・ 医療・データ業界で培った「データ分析・エビデンス構築」の視点を、学会活動や研究部会に還元したい



参加者の声

会員インタビュー



篠原 由香 氏

NTTファシリティーズ株式会社

ワークプレイスソリューション事業の企画・推進などを担当。設計・企画・建築SEや移転CMの経験を活かしながら、働き方やワークプレイスに関する調査・研究、情報発信、ソリューション開発に携わる。ヒューマンキャピタルオフィス研究部会に所属。

“

総務・人事・設計者・研究者など、多様な立場の方と同じテーマについて議論できるのが魅力です。自社だけでは得られない視点や情報が得られるだけでなく、取材や情報発信など日々の業務にもつながっています。

活かし方

- ・ 人的資本経営の潮流の中で、オフィスを「コストではなく成長・イノベーションの源泉」と捉える視点を得た。
- ・ 他社事例や客観的な研究結果を引用し、社内提案の説得力を強化。エビデンスベースの意思決定を後押し。
- ・ 自社だけでは得られない多様な視点やネットワークが、取材・情報発信や企画業務に直結。



こんな方・企業におすすめ

組織・環境づくりを牽引する方

人的資本経営や新しい働き方を推進し、社員のエンゲージメント向上や社内コミュニティ形成に課題を持つ経営層・実務担当者。



- ・AI時代における「働きがい」や「組織の一体感醸成」といったソフト面の課題に対し、他社の先進的な取り組みを直接ベンチマークできる。
- ・単なるハードの整備にとどまらず、コミュニティマネジメントなどの新しい総務・人事の役割を探索し、自社の施策に還元できる。
- ・経営層やプロジェクトリーダーとして、自社のワークプレイス投資や働き方改革を推進するための最新トレンドを把握できる。

外部の知見を活かし、自社をアップデートしたい企業

学会という外部の場を「社外の研究室」として活用し、他社の実践事例を自社の働き方改革や組織風土改善に還元したい企業。



- ・自社内に専門の研究部門がなくても、学会の場を活用することで、最新の学術的知見や業界動向を効率的に収集・活用できる。
- ・産学連携のプラットフォームに参加することで、大学等の研究機関が持つ知見を、自社の組織開発や働き方改革に直接取り入れることができる。
- ・得られた情報を単なるインプットで終わらせず、自社での実践に繋げ、組織をスパイラルアップさせるきっかけにできる。

提案の根拠を求める企業

ユーザー企業のリアルな課題を直接捉え、自社の空間設計やソリューション提案に、学術的な裏付けや先進事例を加えたい企業。



- ・学会活動を通じた実証データや学術的な裏付けを獲得し、顧客へのソリューション提案における説得力を強化できる。
- ・ユーザー企業の総務・人事担当者が抱えるリアルな課題や生の声に直接触れることで、新たなサービスやプロダクト開発のヒントを得られる。
- ・オフィス家具や空間設計にとどまらず、ITツールや働き方支援サービスなど、これからのワークプレイスに求められる多角的なニーズを把握できる。

産学連携・ネットワークを構築したい個人

自社の枠にとどまらず、多様な専門家と繋がり、生きた情報交換や自身のキャリアアップを継続したい中堅層



- ・日常業務では接点のない異業種の実務家や大学研究者と繋がり、オンラインでは得られない「生きた情報交換」と強固な人的ネットワークを構築できる。
- ・自身の関心テーマ（若手の働き方、コミュニティ運営など）を部会の研究テーマとして設定し、多様なメンバーと深く議論・探求できる。
- ・業界の枠を超えた活動を通じて自身の専門性を高めるとともに、実務に直結する新たな視点を得て、キャリアの幅を広げる機会となる。



会員制度のご案内

会員種別

個人正会員

オフィスに関心を持ち、相当の実務経験を有する個人

法人正会員

オフィスに関する事業を営む法人・団体

準会員

オフィスに関する学問研究に関連する学生

入会金・年会費

会員種別	入会金	年会費（口数）	特記
法人正会員	6,000円	60,000円（5口）／120,000円（10口）／240,000円～（20口以上）	口数を上限として登録可
個人正会員	6,000円	12,000円（1口）	—
準会員（学生）	免除	6,000円（1口）	—

登録者は、学会誌配布の他希望する研究部会に数を問わず参加可能。また同一法人内であれば大会・セミナーの参加人数の制限はありません。



入会までの流れ / お問い合わせ

1

お申し込み

申込書に必要事項をご記入のうえ、事務局へメールでお送りください。

2

ご案内・ご請求

事務局より、入会のご案内と請求書（会費・入会金）を郵送いたします。

3

登録完了

会費の納入が確認され次第、会員登録が完了します。

お問い合わせ：一般社団法人 日本オフィス学会 事務局

MAIL : office@jos-japan.jp / TEL : 03-3668-5588 / FAX : 03-5645-2255

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-12-11 リガーレ日本橋人形町2F（一社）日本オフィス家具協会内

一緒に、オフィスの未来を探求しませんか。

ご参画を、心よりお待ちしております。

一般社団法人 日本オフィス学会

www.jos-japan.jp | office@jos-japan.jp